

シロイチモジヨトウ情報第2号（ダイズ、野菜類、花き類）

令和6年9月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

ダイズほ場での発生量が多い状況です

1 発生状況

- (1) 8月下旬の巡回調査において、ダイズほ場（9地点18ほ場）における寄生株率は3.94%（前年2.00%）、発生ほ場率は50%（前年28%）と、前年と比較していずれも高い状況です。また、キャベツほ場の一部では発生が多いほ場があります。
- (2) フェロモントラップにおける直近1か月の総誘殺数が、長久手市のほ場で150頭（平年56頭、前年216頭）と過去10年間で2番目に多い状況です。田原市のキャベツほ場では745頭（平年720頭、前年898頭）と平年並ですが、8月に入り誘殺数が増加しています（図）。

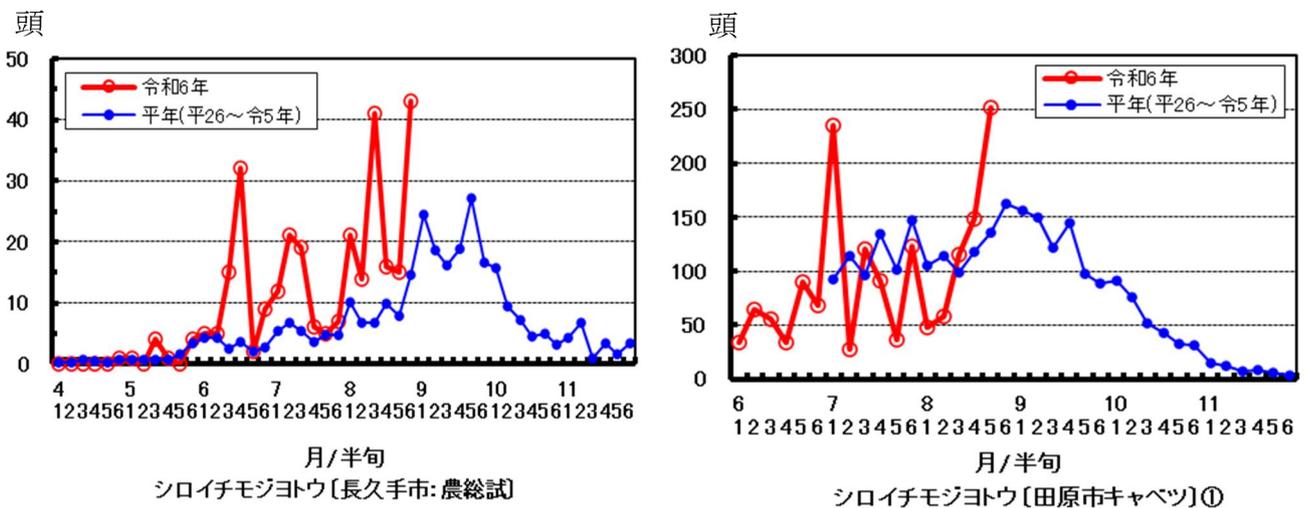


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの誘殺数

2 今後の見込みと防除対策

名古屋地方气象台8月29日の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと予想されており、本種の発生に好適な条件であり、今後、発生量が増加する可能性があります。ほ場を観察し、幼虫を確認したら防除しましょう。

ダイズの生育初期に白変葉を確認した場合、シロイチモジヨトウによる食害の可能性があるので、幼虫をよく確認し、ハスモンヨトウと間違えないように注意して防除しましょう。

農薬については、8月2日発表の「シロイチモジヨトウ情報第1号（ダイズ、キャベツ）」を参考に、発生を確認したら防除しましょう。